

# 生活相談

毎週金曜 午前10:00~12:00  
三郷市役所6階・市議会  
日本共産党控室

# 日本共産党三郷市議団 議会報告ニュース

2021年 4・5月号  
3月議会報告

日本共産党三郷市議団  
三郷市役所6階(市議会控室)  
TEL (953) 1111

日本共産党三郷市議団  
(左から佐藤智仁、深川智加、  
稲葉春男、工藤智加子)



## 2021年度 予 算

# コロナから市民の 命・暮らし・生業を守れ

コロナ禍の中で、企業  
の休業などにより、少  
なくない市民の生活が、  
深刻な困難に陥っており、  
自治体の本旨である市民  
の命・暮らし最優先の施  
策が求められています。

地方財政への影響につ  
いては、税収減を前提に  
地方交付税の増額などの  
措置で対応し、住民の切  
実な要求を実現するため  
の財源は、十分とはいえ  
ないものの一定の保障が  
されました。しかし、「北  
部地区」区画整理事業に  
見られるような産業を誘  
致する企業呼び込み型の  
まちづくりと、マイナン  
バーカードを軸とした  
「行政のデジタル化推  
進」へ多額の予算が振り  
分けられました。

その一方で、市民要望  
の強い、PCR検査の拡  
充、中小業者への直接支  
援策、住宅リフォーム助  
成制度の拡充、学校給食  
費の無償化、こども医療  
費無償化の拡充など市民  
生活を応援する市独自の  
施策がありません。  
市議団は、市政の主人  
公である市民の生活を最  
優先にした予算編成を求  
める立場から、意見を述べ、  
予算案に反対しました。

## 介護保険料が改定 — 高齢者負担増へ —

3年に1度の介護保  
険料改定が提案され、  
全所得段階において保  
険料が増額となりしま  
す。(別表参照)  
三郷市では、介護保  
険料の滞納者は946  
名にのぼり、すでに支  
払い能力を超えている  
状況といえます。改定  
による影響額は、約3  
億7千600万円であ  
り、これが第一号被保  
険者の負担となります。  
これ以上の保険料の引  
き上げは、高齢者の暮  
らしを苦しめるもので  
あり容認できません。  
国の社会保障費の前  
減と介護保険制度の仕  
組みによって保険料を

### <改定後の保険料>

第5段階は標準額

段階	年額	増額	月額
第1段階	20,700	2,900	1,725
第2段階	31,100	4,400	2,592
第3段階	48,500	7,000	4,042
第4段階	62,300	8,900	5,192
第5段階	69,300	9,900	5,780
第6段階	83,100	11,900	6,925
第7段階	90,000	12,800	7,500
第8段階	103,900	14,800	8,659
第9段階	114,300	16,300	9,525
第10段階	121,200	17,300	10,100
第11段階	131,600	18,800	10,967

第1段階から第3段階は特例軽減措置  
(令和5年度まで)

引き上げざるをえない  
ことも問題です。前回、  
三郷市は、急激な保険  
料の値上げを抑えるた  
めに一般財源から財政  
を投入しました。これ  
に対し、県から勧告を  
受けたことは、地方自

治体の独自性を損なう  
ものと指摘せざるをえ  
ません。前回の介護保  
険料と同様の財政的な  
支援を行い保険料の軽  
減を行うことを求め、  
本条例改正に反対の立  
場をとりました。

## 住民要望が実現

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業  
約9億3,000万円(国庫100%負担)
- 三郷市多世代交流複合施設整備等事業  
約6億1,500万円(工事請負費)
- 新生児聴覚スクリーニング検査費用助成  
約360万円(1件3,000円の助成)
- 宿泊型産後ケア事業  
約373万円(1泊5,000円自己負担)
- 北中学校校舎改修事業  
約2,500万円(設計業務費)
- ブロック塀等安全確保補助金  
500万円  
対象を拡充  
(令和7年まで)
- 不燃物処理場整備事業  
4,500万円 施設の老朽化のため移転を計画
- 県水直送管整備事業  
9,300万円 北部浄水場の場内配管の耐震化と  
災害時に県水を直接配水



市道に面しているブロック塀

## 令和2年度 補正予算

# コロナ禍の中、市民要望には不十分 財政調整基金に約14億1,000万円積み増す

令和2年度の補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金が約6,500万円計上されましたが、このうち約2,100万円は、保育所等施設の備品購入などに充当されました。しかしながら、約4,400万円はコロナ対策にあてた一般会計に差し戻し、財政調整基金に約14億1,000万円を積み増しました。これにより、残額が約22億6,000万円となります。

日本共産党三郷市議団は、新型コロナウイルス感染症拡大の収束の見通しが立たない中、暮らしや営業に疲弊している市民の不安に十分応えるものとなっていないことから反対しました。